

**令和6年度大学・高専機能強化支援事業**  
**(支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)**  
**事業概要**

令和6年2月申請時点

**1. 基本情報**

大学名	畿央大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	奈良
大学全体の総収容定員	2,060名	※令和5年5月1日時点	
学部学科 組織構成	健康科学部（理学療法学科、看護医療学科、健康栄養学科、人間環境デザイン学科） 教育学部（現代教育学科）		
事業計画名	心身の健康を支えるアメニティ・オブ・ライフ（Amenity of Life: AOL）の実現を目指す「健康工学部」の設置		

**2. 事業概要**

<p>現代社会における多様なニーズに応え、格差や制約を有する全ての市民が豊かな生活を享受できる社会を構築することで、地域住民におけるAmenity of Life（AOL）の実現を目指す「健康工学部」の開設を令和8年度に計画している（入学定員90名、収容定員360名）。</p> <p>「建築・まちづくり」「室内環境」「衣環境」「ヘルステック」「ウェルネスデザイン」といった幅広い分野にわたる教育課程において、データサイエンスを統合し、心身の健康を支えるAOLを実現するための革新的な知識と技術を持つ人材を育成することを目的としている。</p> <p>健康工学部は、産官学連携拠点「（仮）KIOウェルネスヒル」を併設し、社会における教育研究の成果の実装を目指す重要なプロジェクトを推進する。地域住民が豊かな人生をデザインするための支援や、PBL課題解決型学修等を通じた連携・協働を積極的に展開する。</p>
---

**3. 本事業で新たに設置等を行う組織**

改組予定年度	令和8年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）					
設置等組織名	健康工学部					
設置等組織の学位分野	工学関係	家政関係	保健衛生学関係	-	-	-
当該学部等の所在地	奈良県北葛城郡広陵町馬見中4-2-2					
入学定員	新設予定					
収容定員	新設予定					
入学定員の増加数	90名					
他学部等の入学定員の減少数	90名					

事業計画名 心身の健康を支えるアメニティ・オブ・ライフ(Amenity of Life: AOL)の実現を目指す「健康工学部」の設置

基本情報

改組予定年度	令和8年度	設置等組織名	健康工学部	入学定員増数(合計数)	90名
所在地	奈良県北葛城郡広陵町	改組内容	学部の新設(当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの)	入学定員減数(合計数)	90名

<社会や地域のニーズ・課題>

**社会のニーズ** 新しい健康社会の実現に向けた「アクションプラン2023」(経済産業省)で、「国民の健康増進」,「持続可能な社会保障制度構築への貢献」,「経済成長」が案出。

**地域のニーズ** 健康なまちづくりと在宅ケアを推進させるために、IoT技術を活用して  
① 健康を管理できる人材の育成, ② 住環境の質を向上させる人材の育成。

<連携を通じた教育体制の整備>

**企業や自治体** 企業や自治体との緊密な連携に基づく「プロジェクトゼミ」で、実社会の具体的な問題を発見し、それに直接取り組むことで、学生に実践的な考える力を養成する。

**海外の大学** 既に、台湾の国立成功大学および国立高雄大学と海外インターンシップを実施しており、これらを軸に学生の国際的視野と実務能力を養成する環境を整備する。

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

① 「健康工学部」の教育課程におけるデータサイエンスの統合

「建築・まちづくり」,「室内環境」,「衣環境」,「ヘルステック」,「ウェルネスデザイン」といった幅広い教育課程において、データサイエンスを統合し、心身の健康を支えるアメニティ・オブ・ライフ(Amenity of Life: AOL)を実現するための革新的な知識と技術を持つ人材を育成する。

② 産官学連携拠点となる「(仮称) KIOウェルネスヒル」を設置

同時に立ち上げる産官学連携拠点「(仮)KIOウェルネスヒル」と共に、社会における教育研究の成果の実装を目指す重要なプロジェクトを推進する。また、健康工学部とKIOウェルネスヒルが密接に連携し、地域住民が豊かな人生をデザインするための支援や、PBL課題解決型学修等を通じた連携・協働を積極的に展開する。

<教育内容・育成する人材像>

【データサイエンスを核としたカリキュラムを統合】

PBL(課題解決型の学び)を重視し、演習・実習を多く含めた特徴的なカリキュラムで学修することによって、建学の精神「徳をのぼす」,「知をみがく」,「美をつくる」に則り、社会に出て即戦力となる人材を送り出す。

【データサイエンスを学ぶ】

「情報処理演習 I, II」  
\*MDASHで既に認定  
「社会統計学」,「行動経済学」,  
「マーケティングデータ分析」  
「VR/MR空間デザイン」など

【ひとの健康と暮らしを学ぶ】

「建築」,「まちづくり」,「インテリアデザイン」,「アパレルデザイン」,  
「ヘルステック」,「ウェルビーイング」,  
「健康心理」など

地域社会や産業界からの具体的なニーズに応える人材を育成する

<多様な入学者の確保>

実績提案型のプレゼンテーション総合型選抜の導入を検討

⇒ ① 多様な才能を持つ学生の受け入れ, ② STEM分野における女性の参画拡大を促進

社会人入試の定員枠の設定, 科目等履修生制度の積極的な活用

⇒ 社会人学生やリスキリングを目指す人々への受け入れを強化

